

花巻市東和地域協議会
平成28年度第1回会議記録

日 時	平成28年6月28日(火) 13:30~14:30							
場 所	東和総合支所 第1会議室							
委 員	役 職	氏 名	出席	欠席	役 職	氏 名	出席	欠席
	委 員	下林 育男	○		委 員	武政 文彦	○	
	委 員	鎌田 榮一	○		委 員	宮川 節子	○	
	委 員	菊池 保守	○		委 員	小原千賀子		○
	委 員	浪越 直樹	○		副会長	松葉 孝博	○	
	会 長	吉田 英雄	○		委 員	小原さおり	○	
	委 員	小原 順	○		委 員	高橋さとみ	○	
	委 員	小原 茂明	○		委 員	平野 悠広	○	
委 員	小田島邦子	○						
出席職員	建設部 都市政策課 課長 佐々木賢二 都市デザイン係長 粒針満、上席主任 高橋和司 東和総合支所 支所長 菅谷一雄 地域振興課 課長 大石文子 課長補佐 松原弘明、主査 菊池功昇 市民サービス課 課長 清水辰哉 地域支援室 地域支援監 小原一美							
傍 聴 者	1名							

司会：地域振興課 課長補佐 松原

(会議に先立ち、東和総合支所長から辞令を交付)

1 開会 (司会)

※ 出席者過半数により会議が成立することの報告と、会議を公開していることについて了承いただいた

2 あいさつ

菅谷東和総合支所長

お忙しいところご出席いただきありがとうございます。先ほど委嘱状を交付いたしました委員の皆様には、今後2年間の任期中よろしく申し上げます。市では、人口減少など様々な社会変化に対応すべくいろいろな政策を打ち出していくこととなりますので、諮問されました事項について活発なご審議をよろしく申し上げます。

3. 委員紹介

大石地域振興課長から各委員を紹介

4 地域自治区及び東和地域協議会の概要

大石地域振興課長から別添資料により説明

5 議題

(1) 会長及び副会長の選任について

大石課長（仮議長）

それでは、会長、副会長が決まるまでの間、暫時仮議長として進めさせていただきますので、よろしく申し上げます。花巻市地域自治区設置条例第7条第1項の規定により、会長、副会長は委員の互選により定めることとなっております。条文につきましては4ページのほうにございますのでご参照願います。初めに会長の互選です。立候補、推薦、どなたかご提案いただければと思います。よろしく申し上げます。

菊池保守委員

推薦をいたしたいと思います。会長には、吉田英雄さんを推薦いたします。

大石課長（仮議長）

ただ今、菊池委員さんから吉田英雄さんが適任ではないかとの発言がありましたが、そのほかにございませんか。（異議なしの声）

ないようなので、東和地域協議会の会長を、吉田英雄さんとすることにご異議ございませんか。（異議なしの声）

ご異議なしと認め、東和地域協議会の会長を、吉田英雄さんとすることに決定いたしました。ありがとうございます。

次に、副会長です。立候補、推薦など、どなたかご提案をお願いします。

菊池保守委員

推薦をいたしたいと思います。副会長には、松葉孝博さんを推薦いたします。

大石課長（仮議長）

ただ今、松葉孝博さんが適任ではないかとの発言がありましたが、そのほかにございませんか。（異議なしの声）

ないようなので、東和地域協議会の副会長を、松葉孝博さんとすることにご異議ございませんか。（異議なしの声）

ありがとうございます。ご異議なしと認め、東和地域協議会の副会長を、松葉孝博さんとすることに決定いたしました。ありがとうございます。それでは会長、副会長に推薦されました吉田英雄さん、松葉孝博さん会長、副会長席にご移動願います。

司会

それではここで、花巻市東和地域協議会の会長になられました、吉田英雄さんより代表でご挨拶をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

吉田会長

一言高い席からですが、大役を仰せつかりました吉田でございます。定められた期間です、ぜひ皆様のご意見を集約して実のあるものにしていきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

6 諮問事項

(1) 花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員について

吉田議長（会長）

それでは資料に基づき進めてまいります。よろしく願いいたします。諮問事項であります（1）花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

大石課長

それでは皆様、資料9ページをお開きください。（別添資料により説明）

吉田議長（会長）

ただ今説明をいただきました。それでは1名の有識者会議のご推薦をいただきたいと思えます。よろしく願いいたします。みなさんいかがですか？前例は？

大石課長

昨年度まででございますが、有識者会議の委員は、地域協議会は会長さんがなられておりました。

吉田議長（会長）

かつては会長の小原宏さんがやっておられましたのでそのような前例がありますので、その辺よろしく願いしたいと思えますが、みなさんよろしいですか？（異議なしの声）ありがとうございます。それではそういうことで進めてまいります。

(2) 平成28年度東和地域協議会活動計画について

吉田議長（会長）

それでは、（２）平成２８年度東和地域協議会活動計画についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

大石課長

それでは資料１３ページをお開きください。（別添資料により説明）

吉田議長（会長）

この件については、みなさんから意見を集約して必要事項があれば３回４回に持っていきたいと思いますが、いずれこの２回は確定しておりますのでよろしくお願いいたします。

７．その他

（１）東和地域の公共交通について

吉田議長（会長）

それではその他になります。東和地域の公共交通について佐々木課長から説明をお願いします。

佐々木都市政策課長、高橋上席主任（別添資料により説明）

吉田議長（会長）

ただ今説明をいただきました。公共交通に関しましては東和町にとって大事な事業ですし、本当になくなった場合悲壮感が出るのではないかと心配しています。これにつきまして、みなさんからご質疑をいただきたいと思います。なんでも結構ですのでご発言をお願いいたします。

下林育男委員

９ページの①なのですが、「運行時間が朝９時からではちょっと遅すぎるのではないかと、もう少し早い時間帯じゃないと利便性がない」との指摘が上がっていると思いますが、その辺はどのようにお考えでしょうか。

佐々木都市政策課長

現行のデマンド交通が８時半ということで、おそらく９時となると遅くなると感じられるかと思いますが、そういったことも含めてご意見を賜りたいということですので、例えば現行と同じ８時半であれば地域として受け入れやすいかなとの話でよろしいでしょうか。ご意見をいただきましたので、持ち帰りしたいと思います。

吉田議長（会長）

ただ今、９時では遅いのではないかとの話がありまして、これは説明会の際の参考意見としたいとのことですので、よろしくお願いいたします。この他にございませんでしょうか。

武政文彦委員

素朴な質問ですけど、サービス公社の社長もいらっしゃるので、どうなんでしょう、民業が圧縮する、衰退する形になります。ただ東和地域の経費は、人件費と運送費がほとんどですよね。これを圧縮して市政財政に貢献しながら市民の利便性を高めることを考えると致し方ないというのはわかるんですけど、サービス公社の対応は協議の上進んでいるものか心配ですが。しっかり協議の上でダウンサイジングの計画があるのであれば心配ないのですが。いかがでしょうか。

吉田議長（会長）

サービス公社の心配していただきまして申し訳ございません。現実はですね、確定しておりません。しかも試行運転もしておりません。多分石鳥谷から入ると思いますけれど、デマンド交通が主になるだろうと思っております。市営バスが無くなれば当然その分の人がどうなるかということですけども、スクールバスは残りますし、そっちのほうに従業員は充てたいなと思っております。スクールバスは1種ですので、できるだけ解雇が出ないように注文していきたいと、サービス公社のほうでは考えているところでございます。

佐々木都市政策課長

今、会長からもお話がありましたけれど、事前にサービス公社さんにはご説明申し上げまして、コミュニティ会議とか区長会とかに説明させていただいております。また将来的にはサービス公社の運営につきましては、今後地域の説明会でもいろいろな意見が出ると思えますし、スクールバスの話とかいろいろな要素がありますので、今後もそういったものを踏まえて情報交換しながらお話をさせていただければと思います。

吉田議長（会長）

確定していませんけれど、事情を考えながら事業推進を行っているところです。今後相談とかある場合は、事前に説明をして協力をいただきたいと思えます。

武政文彦委員

近い将来自動車の自動運転が実施されます。特に、現在東京オリンピックを目指して主に高速道路を使った実証実験が政府中心に進められています。次に来るのはですね、過疎地域だと思います。将来、過疎地域での実証実験が下りてくると思えますので、その際にはできるだけ早く手を挙げてほしいと思えます。過疎地域による自動運転の可能性、問題点、法的にも技術的にも解決しなければならないものがあって、その時に全体の仕組みができてしまってからではなく、仕組みを作る段階から花巻市が参画するという発想を少し持っていただき、花巻市は可能性があると思うのでぜひ検討課題に入れていただきたい。

佐々木都市政策課長

実は市長からも、そのような指示を受けておりまして、専門家の方からお話を伺ってまいりました。具体的には、自動運転には法的な整備が必要な部分もありますけれど、技術的に

はおそらく高速道路であればすぐできるような状況であろうと。あとは、自動運転しているバスは海外ではあるようですけれど、今の2倍3倍もお金がかかるということで、もう少し時間がかかるのではないかと話は聞いておりました。いずれそのような動きがあった場合は、早めに手を挙げたいと思います。

吉田議長（会長）

いずれ、デマンド交通は今後推進していかなければならないだろうと。当然、前日予約でなく当日予約で乗れるような体制を作っていかなければならないだろうということで、石鳥谷から試行運転を始めるようでございますのでよろしくお願いたします。また、その情報をいただきながら、参考にしながらいいものを作っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

8. 閉会